

DTX2 イマダへ返送時の梱包方法

修理をご依頼またはご検討いただきありがとうございます。

お客様からイマダに修理品をお送りいただく際の輸送中に損傷があった場合は保証対象外となっております。損傷を防ぐための梱包のポイントを説明致しますのでご参考下さい。

梱包箱は、輸送中の損傷を防ぐために製品納入時の専用の梱包箱一式を使用して頂くことを推奨します。専用の梱包箱一式を紛失または破棄された場合は、有償ですが送付することもできますのでお申し付けください。

[お問い合わせ](#)

下記に紹介する手順はイマダ指定の専用梱包箱一式を使用する際の梱包方法です。

お客様で弊社指定以外の梱包箱をご用意される場合も、できるだけ近い梱包箱・梱包材を使用し、下記方法・ポイントに沿ってお送りください。弊社の指定梱包以外でDTX2の保護が難しいと判断される梱包においては、弊社が用意した専用の梱包箱に入れて返送致しますことを予めご了承ください（お送りいただいた際の梱包箱・梱包材は破棄させていただきます）。

イマダ指定の梱包箱にて返送して頂く場合の梱包方法・注意点

イマダの梱包キット内容：大きい段ボール箱（一式を入れる箱）・小さめの箱（テーブルや付属品を入れる内箱）・梱包材各種



ポイント

箱の中で測定器や付属品ができるだけ動かないようにすることが重要です。

隙間が気になる場合などは、動かないようにするために指定外の緩衝材を入れて頂いて結構です。

次ページへ続く

手順

- ① DTX2 に取り付けられている付属品は**全て**取り外してください。
※テーブルも取り外してください（オーバーロードと呼ばれる故障を防ぐため）。



- ② 大きい箱の中の底に白い梱包材を設置し、テーブルを取り外した状態の DTX2 の本体を、それに合わせて入れます。



- ③ 取り外したテーブルの裏側にある軸に円形の梱包材をつけます。
（輸送中にこのテーブルが動くと、軸が箱に突き刺さったり、同梱物を傷つけることがあるので、それを防ぐために緩衝材で回りを囲います。）



次ページへ続く

- ④ 小さい箱に、円形の梱包材をつけたテーブル・電源ケーブルなど、付属品を全て入れます。
(ここではテーブルをキット外の気泡緩衝材で包んでいます。)



- ⑤ 小さい箱は封をして、大きい箱の中に入れます。
(小さい箱と大きい箱の隙間が気になるときは、適当な緩衝材を入れて下さい。)



お客様自身で弊社指定以外の梱包箱/材を使用する場合の注意点

できるだけ上記の手順を再現して下さい。特に下記のポイントを抑えてもらうようお願い致します。

- 特に本体が箱内で輸送中に動くことの無いように箱内に設置する。
- テーブルは、外して別箱に入れる（オーバーロードと呼ばれる故障を防ぐため）。
→本体と別箱に入れたテーブルは1箱にまとめて送る（紛失防止と輸送料削減のため）。

注意！メーカー指定梱包以外で製品の保護が難しいと判断される梱包においては、弊社が用意した専用の梱包箱に入れて返送いたします。その場合、お送りいただいた際の梱包箱・梱包材は破棄させて頂きますことを予めご了承ください。